



ハヤブサ

ニュース No.75

2022. 8.12

発行 米軍Xバンド レーダー基地反対・京都連絡会

連絡先 〒602-8347 京都市上京区四番町121-5 大湾 宗則

電話&FAX 075-467-4437

郵便振込口座 00950-9-303127 名義 京都連絡会

絶滅危惧種
京丹後のハヤブサ

「街なかビラ」の報告と 今後のお知らせ (文責 白井)

7月の報告

※7月19日(火) 四条大宮は大雨で中止。

第138回 7月27日(水) 今熊野商店街 6人

この日も熱中症警戒アラート発令の猛暑日だったが、アーケードがある商店街で大助かりだった。

- 人通りは多くないがビラの受け取りは良かった。
- こんな所に米軍基地があるの？こんなものは造ってほしくない(50代女)
- ウクライナのようにいったん戦争になれば止まらない。ビラにあるように武力では戦争は防げない(70代女)
- なんで戦争なんかやるのかね～、やったらアカンですよ(高齢女)
- 向こうで貰ったよとポケットから出して見せてくださる人(高齢男)
- 「いらん！」と断る人(男)があったが、「攻められたらどうするんだ」という人は今回は誰もなかった。
- 基地があることを知らない人がまだまだ多い。



今熊野商店街

今後の予定

第139回 8月26日(金) 堀川三条商店街

集合場所: 市バス「堀川三条」停留所

時間は 11:00 ~ 12:00 です

暑さ厳しいですし、無理のない参加をお待ちしています。

連絡先: 090 - 5672 - 1597 (白井)

京丹後訪問のご案内

8月22日(月)、9月15日(木)

集合は午前8時30分

鴨川五条大橋西詰のガソリンスタンド前

* 配車の都合で参加予定の方はメールか電話で事前連絡をお願いします(池田 090-7108-5508)



宇川の米軍 X バンドレーダー基地では、このかん可動式の高性能の監視カメラが配備されるなど、警戒態勢が強まっているようです。基地の状況を見ていると、監視カメラはさらに増設されそうな雰囲気です。東アジアの軍事緊張の高まりや重要土地規制法の施行を反映しているように思います。

交換されて「静音モード」になったとされる発電機ですが、風向きや位置にもよりますが、少なくとも昼間農作業をしている人にはよく聞こえています。6月の京丹後市議会でも取り上げられたように、実際の計測・調査が必要です。そのうえで、近隣住民の再三の要望を無視し、米軍の都合によって夜であれ昼であれ発電機を動かすという軍事優先のあり方が批判されなければなりません。

この8月前半にはハワイ沖で日米韓の三国による「ミサイル探知・追尾訓練」が行われました。宇川の米軍 X バンドレーダー基地も関係する「ミサイル防衛」(MD) 体制強化のための合同軍事演習です。自衛隊による演習も強化

されています。武力で平和はつくれないということであらためて訴えていきたいと思ひます。

厳しい暑さの続く中ですが、体調に配慮していただき、無理ない参加をお願いします。9月15日には京丹後市への申し入れも行ひます。

学習会 京丹後に「風力発電所」?

塚本

丹後半島第一、第二風力発電事業計画 (京都府)



7月25日、「風力発電所問題と宇川」と題する学習会が、米軍Xバンドレーダー基地反対・京都連絡会の主催でおこなわれ、永井友昭・京丹後市議と宇川在住の方に、zoomでスライドを使って報告してもらった。丹後半島に4ヶ所計44基もの巨大風力発電所が計画されていて、地元で反対運動がおこっていることは一定知られていて関心も高く、この日は普段京都連絡会の例会には来られない、ミュニシパリズム京都の方や、自衛隊員の命と人権を守る京都の会の方、京丹後出身の方が来られ、質疑応答も活発にされた。巨大風力発電所が建てられようとしている依遅ヶ尾山や磯砂山の尾根は真砂土でできていて崩れやすいこと、これまでも鞍内と遠下の間道が何度も寸断されたこと等を聞き、自然を破壊して無理なことをしようとしていることを実感した。

労働組合つぶしの大弾圧を許すな！ 大津地裁コンプライアンス裁判報告集会

9月13日(火)午後1時15分～
滋賀県教育会館にて 集会後、デモ

連帯労組のコンプライアンス(法令順守)活動が「恐喝未遂」「威力業務妨害」に仕立て上げられた弾圧事件の裁判が大津地裁で大詰めを迎えています。裁判の全体像と労働組合の活動の正当性を弁護団等が報告します。

日米韓合同軍事演習反対!

7・28デモに参加して

吉水律子



7月8日奈良市内で、安倍元首相が銃撃され死亡したのを受けて、2日岸田首相がすぐさま国葬にすると発表しました。そのため、真夏の暑さの続く夕方でしたが、安倍元首相の政治の私物化や、安倍政権による数々の民主主義の破壊に対して、税金を使つての国葬に値しないと、多くの方が国葬反対を訴えました。

また、日米韓合同軍事演習について、朝鮮半島・東アジアの緊張を高めるもので反対することを確認して、市役所前でのアピール後、デモを行いました。

岸田政権はロシアのウクライナ侵攻を利用して、「ウクライナは明日の東アジアかもしれない」と、中国や朝鮮民主主義人民共和国を念頭に軍備の増強を図ろうとしています。

メディアもそれに同調した報道をさかんにしています。私たち京都連絡会が市内で「基地はいらない」のビラを配布していると、「中国や北朝鮮が攻めてきたらどうするんや」という人にも出会うようになりました。反対に丹後の米軍基地・自衛隊基地の周辺では、基地が存在する故の不安が増しています。

米国は、自国以外で争いを仕掛ける挑発とも思える策動をしているように、私には思えます。そして、岸田政権はそれに応えるように、憲法改悪、辺野古新基地建設、南西諸島での自衛隊配備を進めています。これを書いている時にも、ペロシ米下院議長との会談で台湾海峡の平和と安定のためとして、日米軍事同盟の強化が報じられました。

こうした軍事協力とその強化に強く反対し、戦争も基地もない世界を次世代につなぐために、これからも行動したいと思ひます。

老朽原発・美浜3号うごかすな！ 7.24 現地全国集会に300人 (報告:瀧川)



電力会社、政府はウクライナ紛争や炭酸ガス削減を口実にして原発を強引に動かそうとしています。岸田首相は今年の秋までに9基の原発を稼働すると発表しました。そのうち5基は若狭の関西電力の原発です。

なかでも、美浜3号機は、45年を超える老朽原発であり、圧力容器の脆化が進み、配管トラブル多発の蒸気発生器を持ち、原子炉空焚き過酷事故の危険性が高いものです。これを動かすなどもってのほかです。

7月24日の「老朽原発・美浜3号うごかすな！現地全国集会」には、コロナ急増を乗り越え、猛暑にもめげず、約300人が結集され、弁天崎(美浜原発を望む岬)集会→町内デモ→関電原子力事業本部前抗議・申入れ集会→町内デモを敢行しました。

この集会には福井、大阪、京都、滋賀~大型バスで駆けつけた皆さんをはじめ、地元若狭、兵庫、奈良、岐阜、愛知、遠くは、東京、関東、愛媛、香川など四国からのご参加を得、文字どおり「全国集会」となりました。

先の5.29「原発のない明日を 老朽原発このまま廃炉！大集会 in おおさか」(2,100人結集)に引き続いて「老朽原発うごかすな！」の決意と怒りが噴出した行動でした。

8月10日に稼働を予定していた美浜3号機は、1次冷却水を送るポンプのフィルターから放射能を含む7000リットルの水漏れを起こし、稼働が延期されています。稼働前からのトラブルです。

国葬に反対する理由

ハヤブサNo.74(参照)つづき

大湾宗則

国葬は、死々たる安倍の美化と神格化を通して軍拡に向かう国家主義高揚を目論む政治利用、断じて許さない!

7/8 近鉄奈良西大寺駅前安倍元首相が射殺されたニュースは日本だけでなく世界を駆け巡った。米国政府は直ちに「日米同盟を深化させ、自由で開かれたインド太平洋という日米共通の構想の促進に尽力した」と讃え、ホワイトハウスと連邦政府機関及び在外公館に半旗を指示。7/20には米上院は「世界の民主的価値観の精力的な擁護者」と讃える決議を全会一致で上げた。

国連安保理15か国は会合前に黙とう、イギリスのエリザベス女王は「悲しみ深い」と天皇にメッセージを送ったことをツイッターで明らかにした等々。これら諸外国の動きは「専制に対する民主の結束」を誇示し、世界秩序の現状維持をアピールした。

7/11、政府は閣議で元安倍総理に天皇から最高位勲章・大勲位菊花章頸飾授与と発表。

7/12 安倍家の葬儀が増上寺で行われ、弔辞を読んだ麻生副総理は「国際社会での日本の存在を高めた」と讃えた。林芳正外相は「259の国・地域・機関から計1700件以上の弔慰」を報告し「安倍氏が外交に残された大きな足跡を感じる」と付け加えた。

この賞賛されている外交とは、安倍氏が進めた中国、朝鮮、ロシアなどに対抗してアジア太平洋に広がる日米安全保障任務の強化であり、排外主義的な軍事的経済的威嚇と制裁である。具体的には米中による世界経済の覇権をめぐる闘いやウクライナ・ロシア戦争、東アジアに結集したNATO、日米韓、QWADやTPP IPEF(インド太平洋経済枠組み)など西側諸国の権益確保の旗振り役を務めたことを指す。国内では「専守防衛から攻撃型戦略」への転換を進め、防衛費のGDP2%(国家予算10%)を狙い、辺野古新基地建設強行と南西諸島へのミサイル部隊の配備など軍拡と改憲を進めたことが「賛美」されている。こんな趣旨で全額国費で、国民に強制的な弔慰を強いる国葬など断じて認めるわけにいかない。



祭壇の献花はただ一对、天皇・皇后からのもの

天皇の違憲行為と政府の政治利用を弾劾す！

7/12の安倍家の葬儀に米国国務長官や国連事務総長などが参加、プーチンや習近平などからの弔電、こうした中で行われた葬儀に天皇・皇后は名代を立て、葬儀への献花・香典、供物を託した。葬儀の正面に天皇の花輪一对のみ献花。これは憲法違反である。何故なら葬儀への代理参加と献花は天皇の国事行為に当たらず違反であり、更に安倍政治に関する評価が国論を二分しており、その一方の政府側の政治的利用に載せられて葬儀に代理出席したことは憲法第一条「天皇は国民統合の象徴」を自ら破ったことになる。この天皇の違憲行為は憲法第三条「天皇の国事に関するすべての行には、内閣の助言と承認を必要とし、内閣がその責任を負う」とある。

天皇の国事行為でもない「安倍家の葬儀」に政府に政治利用された参加は認めない。

国葬とは、国家に殉じたものに対する顕彰であり、新たな国家主義(排外主義)を飛躍させるものである。天皇のかかわりは認めない。

国葬の主旨と根拠

岸田首相が語った趣旨 ①8年間の長期政権②安倍の外交力と世界各国からの賞賛 ③日米安保、NATO、QWAD TPP IPEF インド太平洋経済枠組みなど外交成果 ④選挙中の非業の死を踏まえ暴力に屈しない民主主義を示すためと述べている。

国葬の法的根拠なく、違憲・違法である。

岸田内閣が「安倍の国葬」を閣議決定した。法的根拠は、内閣府設置法の儀式の項で「第四条3項三十三 国の儀式並びに内閣の行う儀式及び行事に関する事務に関すること」にあり、今一つは戦後唯一行われた1967年の

故吉田茂氏の国葬の前例を援用するということである。

まず、内閣府設置法による儀式の項を基にした「安倍国葬」の是非だが、戦前の国葬令が1947年の現憲法施行とともに廃止されていること、よって現行の内閣府設置法の儀式の中に「国葬」という法的概念は廃棄されていることを理解しなければならない。よって内閣府設置法の儀式の項は「安倍国葬」の法的根拠にはならない。

また、故吉田茂氏の「国葬」は、当時の記録によれば「基準がない中で、大正天皇の貞明皇后の葬儀を大喪儀(皇室行事)として行ったことを拠り所とし、国費によって葬儀を行うことを(佐藤内閣で)閣議決定した」とある。

これは珍奇だ。1947年の現憲法施行と同時に廃止された国葬令と共に廃止されている大喪儀を援用して故吉田氏を「国葬」としたこと、大喪儀が皇室行事であるにもかかわらず、故吉田氏の国葬のよりどころとしたとはまことに低劣極まりない。

整理すると国葬は現憲法では皇室典範第二十五条「天皇が崩じた時は大喪の礼を行う」、この大喪の礼だけが国葬である。

次に1947年5月3日に現憲法が施行されると同時に1926年の国家主催の「国葬令」及び皇室行事としての「皇室喪儀令」は廃止されている。現行憲法には天皇以外の国葬はあり得ない。

「安倍の国葬」は、内閣府設置法の儀式の項によっても、また故吉田茂氏の国葬の前例踏襲によっても国葬として施行することはできない、憲法違反である。

国葬に対する 世論調査 (7月30、31両日実施)

8/1日付各紙が報じた共同通信の世論調査によると、安倍晋三元首相の「国葬」に「反対」「どちらかといえば反対」が計53・3%を占め、「賛成」「どちらかといえば賛成」の計45・1%を上回りました。

また、共同の調査では、「安倍国葬」閣議決定以後の国民の意識は厳しく、岸田内閣の支持率は51・0%で、前回調査(7月11、12両日実施)から12・2ポイントも急落し、昨年10月の内閣発足以来最低。不支持は7・1ポイント増の29・5%でした。

暑くてコロナ禍の中ですが追撃あるのみです。

9月27日の「安倍国葬」反対の声を

更に広げて国葬を中止に追い込みましょう！